



全国通信三田会報

第116号 2023年(令和5年)2月15日発行

発行 全国通信三田会 会報は正会員の情報紙です。
 発行人 山岡恒夫(会長) *年会費2千円
 事務所 〒300-1282 *郵便振替番号
 茨城県牛久市井ノ岡町 00120-2-18806
 2117 山岡恒夫 複数年度お支払いの意向を
 TEL 029-875-0533 お持ちの方も会計処理でき
 編集人 星野寿美(広報部長) るようになりました。
 印刷所 梅沢印刷所(東京都) *会への連絡は8面の連絡先へ

第一一六号

通教卒業生16000人達成記念式典

—三田キャンパスおよびオンライン併用方式で開催—



池田幸弘常任理事

記念式典は、10月15日(土)15時から堀田健副会長の開式の辞ではじまり「塾歌斉唱」、山岡実行委員長挨拶の後、池田幸弘常任理事による記念講演会が対面とオンライン方式で行われました。池田先生より「学問のすすめ」「福翁自伝」から、おそらく福澤の最高傑作といえる『文明論之概略』の読み方まで分かりやすく丁寧にご教示いただき、さらに「国民と政府との関係はあくまで対等！国民は当事者意識を欠いてはならない。」など「福澤思想の現代的意味」について講演をいただきました。

実行委員会事務局 出口 常雄

コロナ禍の現況の中、多くの会員の皆さまに三田キャンパスおよびオンラインでのご参加をいただき、ありがとうございます。令和3年3月の卒業式で通信教育課程の卒業生が16198人となりましたが、コロナ感染拡大も考慮し同年10月16日(土)の秋期幹事会において翌年10月の秋期幹事会時に「通教卒業生16000人達成記念式典」を開催することを決定いたしました。同時に令和3年11月より記念式典開催に向け準備委員会(委員長 山岡恒夫会長)を設置し、全国各地域通信三田会会長との連絡体制の円滑化を図ることといたしました。準備委員会のもとに実行委員会(委員長 山岡恒夫会長)と事務局(事務局 出口常雄企画部長)を

設置し、毎月第三金曜日(20:00~21:30)にオンライン方式で事務局会議を実施することといたしました。事務局会議には、山岡会長・吉浜健二副会長をはじめ各副会長・部長・副部長さんにご参加いただき具体的な準備作業を13回実施し検討内容を全国通信三田会報(第114号・115号)で会員の皆さまへの周知を図りました。また、初めての試みとして

神奈川通信三田会 創立50周年記念誌

『集い50年』

A4判 全カラー210頁

過去・現在・未来につなぐ

集い50年

慶應義塾神奈川通信三田会

当会は1970年11月7日創立され50周年を迎えましたが断続的なコロナ禍に遭遇のため、記念行事を記念誌の発行に絞り一年遅れて『集い50年』を発刊しました。

編集方針は大きく二つで、一つは会員全員参加の記念誌創り、次いで当会は2000年に30周年記念誌『新世紀』を発刊済ですが『新世紀』を包含する形でこの50年間に亘る活動の「記憶を記録に」して次の世代に繋ぐことでした。

では、その中味の一部をご紹介します。スタートは当会創立50周年に寄せて慶應義塾伊藤公平塾長様を始めとする大学関係者、慶應連合三田会菅沼安嬉子会長様、全国通信三田会山岡恒夫会長様に加え多くの地域通信三田会様からご祝辞とご寄稿を頂きました。有難く感謝申し上げます。

多くのページを占めるのは当会会員からの寄稿文で、300名会員の過半を超える方々から寄せられました。話題のトップは通信課程に必須の卒論作成とスクーリングに纏わる実話で指導教官との出会いや今も続く師弟関係、苦心から工夫談、友との出会いとそれを越えてゴールインに至った慶事などなど楽しい思い出に引き込まれます。また「学位記」から通信課程の文字が消えた秘話もあります。

特別企画で新塾員の座談会を行いました。今の慶友会活動やコロナ禍でのオンライン授業などホットな話題と変わらぬテーマ「慶應愛」です。

「記憶を記録に」に係る章では当会50年に亘る組織・役員体制を振り返り、講演会、話題提供、海外・国内研修等各種行事を写真仕立てで確認しました。また今後の進展を期す同好会活動を積極紹介しています。

会報のみで繋がっている会員も含め行事への参加のご案内を吉浜会長の口癖「楽しくなければ三田会じゃない」に「参加できなきゃ三田会じゃない」を添えて「集い・楽しい神奈川通信三田会」を目指しています。

紹介者 神奈川通信三田会 竹原貢

◆会への連絡は下記へご連絡くださるようお願いいたします。

- ◎会へのご意見など 事務所へは郵送のみでお願いします。
緊急の用件の場合：山岡会長
Tel 029-875-0533 (夜間7時~11時まで)
住所・姓変更退会逝去者など 田沼方 Fax 03-6874-6718
(住所変更は下記塾員センターへご一報！)
<https://www.wdc01.adst.keio.ac.jp/kj/jukuin/mailform.html>
- ◎新入会申し込み、会計関係(文書で)
〒340-0003 埼玉県草加市稲荷2-5-2 大川成一方
- ◎「全国通信三田会報」原稿送り先
〒376-0101 群馬県みどり市大間々84-18 星野寿美方
Tel & Fax 0277-73-1529 Eメール: sincere@vi.sunfield.ne.jp
【次号原稿締め切り：令和5年5月末日まで 原稿字数800字位】

2022年全国通信三田会 秋期幹事会 議事録

日時：2022年10月15日(土) 13:00~14:40
 場所：三田キャンパス西校舎522教室と Zoomのハイブリッド方式

司会：石川総務部長
 議長：高橋豊副会長
 書記：須賀総務部副部長
 群馬通信三田会 矢島聖剛会長他、ご逝去された方々を悼んで黙禱
 大友正敏塾員センター部長より「塾の近況」報告
 塾歌斉唱(1番のみ)

1. 議事進行
 - (1) 会長選報告：山岡現会長の再任を内定、→全会一致で承認。山岡現会長の再任とする。
 - (2) 会長挨拶
 - (3) 各部報告
 - 企画部：出口部長
 - 会計：大川副会長 会計監査：柴田会計監査 (Zoom)
 - 広報部：星野部長
 - 渉外部：迫部長
 - 塾員情報部：金子副部長 (Zoom) 田沼副会長 (Zoom)
 - 情報システム部：中澤部長
 - 総務部：石川部長
 - 地域連絡部：瀬戸田副会長 伏屋副会長
 - 全会一致で承認

2. 各地域三田会報告
 - ・東京：伊藤会長 田中顧問 (Zoom)
 - ・茨城：山岡会長
 - ・沖縄：長濱会長 (Zoom)
 - ・大阪：野村会長
 - ・埼玉：大川会長
 - ・神奈川：迫部長 竹原会長代行 吉浜会長 (Zoom)
 - ・千葉：渡邊会長
 - ・愛知：岩田会長
 - ・札幌：吉田会長 小島副会長
 - ・栃木：近藤会長 (Zoom) 小林副会長
 - ・静岡：長澤幹事
 - ・岐阜：丹羽会長 (Zoom)
 - ・群馬：星野副会長
 - ・京滋：河合会長代理
 - ・兵庫/和歌山/関西：筒井会長 (欠席、資料にて報告)
 - ・岡山：大森会長 (Zoom) 明石顧問 (Zoom)
 - ・広島：迫田会長 (Zoom)
 - ・山口：小河会長 (Zoom) 由元顧問 (Zoom)
 - ・徳島：大原会長 (Zoom)
 - ・熊本：都留会長
 - ・鹿児島：竹下会長 (Zoom)
 - ・会場：堀田副会長、幸治副会長、阿部副会長、山川会
計補佐、鶴岡幹事(旧姓桐谷)、矢部企画部副部長、須賀総務部副部長、大野総務部副部長
 - ・Zoom：東海林修渉外部副部長

3. 来年度春期幹事会：2023年5月27日(土) 13時~、三田キャンパス

次に、伊藤公平塾長ならびに菅沼安子連合三田会会長さまから「祝辞(ビデオメッセージ)」をいただいた後、山岡会長より池田常任理事に寄付目録の贈呈、西校舎入口階段で池田常任理事と山岡会長を囲んで参加者全員の記念写真撮影、会場に戻り瀬戸田誠副会長の指揮により参加者一人一人が肩を組んで、若き血を斉唱し、17時半出口事務局長の閉式の辞でお開きとなりました。

特に、式典会場の確保、記念講演会の講師派遣、ご来賓の伊藤塾長および菅沼連合三田会会長さまへのビデオメッセージのご依頼など、塾員センター大友正敏部長・中里史朗課長、萩原祐子管財担当さまをはじめ栗生賢一郎基金室長・大下亨治連合三田会事務局長さまの温かいご協力とご支援をいただき衷心より厚く御礼を申し上げます。

終わりに、この度の記念式典にあたり、コロナ感染の影響など様々な諸事情から開催内容の変更および規模を縮小しての開催となり、会員の皆さまへのご案内がうまく行き届かなかったことを深くお詫び申し上げます。



高野 勇さん (1981文)

航空学問のすすめ

1. 昭和29年の街は戦後の余韻新聞でみた航空界の現状にショックをうけた。民間航空は再開されたが、米国の運航会社である。また、昭和29年に航空自衛隊が創立されたが、パイロットの教育は米軍の指導によりおこなわれた。私が興味をもったのは航空運用のシステムであった。空は自由などロマンチックなものでなく、すべて地上からの指示、命令で飛ぶというシステムの飛行になったのだ。航空用語は世界共通語の英語になった。当時では珍しい羽田空港の管制塔内の写真を新聞でみた。米軍兵士の管制官と日本人職員がマイクを持って航空機と交信している。当然英語での交信であることは分かったが、どんな内容か非常に興味があった。これからは新しい航空技術と総合システムによって空は運営される時代に変革していったのである。その夢を追って航空の世界を私の職場とし、「空のすすめ」の挑戦がはじまった。日本の戦後の航空保安管制システムは米軍(米軍兵士)からノウハウを学びとり努力して、今や世界一流のレベルにある。空の職場はひたすら場所、職種を問わず挑戦していった。転勤は新しい業務経験を第一にしたので、北海道から東北、関西、離島、東京に至り、期間も1年から長くて2年で家庭の問題は無視していた。その間に密かに勉強していたものがあつた。仕事は最高の趣味そのものでもあつたので苦にはならないが、一方大学での勉学を諦めて人生を終わったら悔いのこるだろうという思いがあつた。これを同時に解決してくれたのが、昭和35年入学の慶應の通信教育であつた。紙質の悪い雑誌のような教本であつたが旧漢字の文章は学問の尊さを示唆してくれるようであつた。

2. 慶應通信在学特権を謳歌 仕事の多忙さと余暇時間のない生活でとても教本を勉強する余裕はなかつた。当時は地方に居り科目試験をうける機会もなかつたので、地方の2ヶ所の会場を掛け持ちで試験に臨んだりした。新婚旅行も学割でこれを利用した。転勤も続き、また余暇を利用してパイロットへの夢を実現すべきその勉強も膨大であつたが、慶大だけは絶対断念しない決心で卒業もしない在学学生でいることにした。当時、幸いにも在学期間の制限が無かつたので、慶應を謳歌しようとした。その後、東京への転勤でスクリーングはクリアした。常連になった学割申請のため三田事務局へ行つたところ、事務局員が「高野君!卒業準備のため卒論の手続きとりなさい」と、私は「まだ単位がたりません」と返答すると、ファイルのみせられて「卒業単位はあるから卒業しなさい」とのこと、なんと単位はすでに満たしていたのだ。卒論の指導は大橋吉之輔教授で航空小説「キャッチ22」を論じ、評価Aをいただいた。その昔、新潟の科目試験の懇親会で交流した石川忠雄先生は塾長となられ、昭和56年に先生から卒業証書を授与された。入学から何と21年が経過していた。感慨無量。

3. 航空法を求めて慶應義塾から専修大学へ 職場の航空に関する国家資格を第一に勉強して、合間に慶應の勉強というマルチ方法をとつたので、結局長い年月が経過してしまつたのである。職務上、運航会社と同じ資格を保持する必要はないが、運航会社の業務も経験すべきと挑戦したのであつた。パイロットや、運航管理者に数年を要した。地上の機長といわれる運航管理者は難関だったが「航空学問のすすめ」のマルチ方法が成功した。しかし、これではいけない、学問としての航空を再度勉強しようとして「航空法」講座があつた専修大学へ慶大から引き続き修士入学した。その後の奮闘記が専修大学総長の目にとまり、本年3月「専修大学史記要」に記録された。考えれば人生の大半を慶應にあり空への夢を追い続けることができた。「慶應!陸の王者慶應!」私は「空の王者、慶應!」と口ずさんでいる。(元)



伊藤公平塾長



菅沼安子連合三田会会長

慶應義塾へ寄付金贈呈のご報告並びに御礼

全国通信三田会会長 山岡恒夫

「通信教育課程卒業生1万6千人達成記念」では、皆さまからのご寄付をありがとうございます。 「通信教育部教育充実資金」として、令和4年11月7日に139名様(プラス福岡通信三田会) 総額120万円を慶應義塾へ寄贈しました。 コロナ禍や円安という激変の経済の中で、通教卒業生1万6千人達成記念の寄付に浄財を120万円お送りいただき、厚く御礼申し上げます。

通信教育課程卒業生数の推移

(神奈川通信三田会掲載版入力分より)(単位:名)

卒業年月	卒業生数			卒業生累計		
	男	女	合計	男	女	合計
2022年3月	92	94	186	8536	7949	16485
2022年9月	48	67	115	8584	8016	16600

注:上記数値は、全国通信三田会にて累計したもので、大学側は未公開

2022年9月通信教育課程卒業生数

(単位:名)

	男	女	計
文学部 第1類	7	21	28
第2類	6	3	9
第3類	5	17	22
小計	18	41	59
経済学部	12	11	23
法学部 甲類	7	12	19
乙類	11	3	14
小計	18	15	33
合計	48	67	115

2022年10月生の入学者数

(単位:名)

	男	女	計
文学部 第1類	30	47	77
第2類	9	7	16
第3類	4	19	23
小計	43	73	116
経済学部	82	53	135
法学部 甲類	32	33	65
乙類	19	14	33
小計	51	47	98
合計	176	173	349

(文責 神奈川通信三田会 副会長 宮坂きよ子)

『2022年慶應連合三田会大会』 つながろう、いま。つなげよう、未来。

10月16日(日)当日は曇りのち晴れとなり秋らしい良い天気になりました。 今大会は、3年振りのリアル「日吉キャンパス」と、オンライン「デジミタ」との史上初「ハイブリッド」同時開催となり、約17000名を超える多くの方に参加いただきました。 コロナ禍継続の中、入場前の検温を実施し、マスクにチェックシールを貼付いただいでキャンパス内ご案内でしたが、各ブースで大きな混乱も無くスムーズな運営となりました。 新装成った「日吉記念館」前には様々な三田会職がはためき、楽しく談笑し、再開を喜ぶ様子があちらこちらで見えました。また、塾員経営の酒蔵、レストラン等からの飲食物販売、慶應グッズ販売や協賛企業提供催し出店など模擬店が多数出店し賑わっていました。 恒例の「通信たまり場」も神奈川通信三田会様の協力により塾高校舎前に設置出来ました。そこには全国各地から来場された通信塾員の皆様は3年振りのリアルを心から喜び、笑顔での記念撮影となりました。 今大会では「紙大会券」、「e大会券」の2とおりでの記念品申し込み、福引エントリー方法でしたので多少の戸惑いがあつたようでした。来年以降もハイブリッド開催は継続していくでしょう。 次回も「リアル」、「デジミタ」へ多くの皆様に参加されることを期待したいと思います。

大会実行委員 平松 弘行 (1992経)

神奈川通信三田会 千葉通信三田会と
研修交流会を盛会裏に実施

神奈川通信三田会 副会長 迫 一美

2022年6月11日(土)・12日(日)千葉県館山市において千葉通信三田会と研修交流会を盛会裏に実施。当会はこれまで国内研修と海外研修を隔年毎に実施。コロナ禍で海外は当面見送り、国内は前回群馬以来3年ぶりの開催となった。

初日は、先ず小高い館山城の天守閣から東京湾を一望したあと、館山市立博物館にて南総里見八犬伝で知られる戦国大名里見氏や旧日本海軍の軍事施設の記録の学習・旧館山海軍航空隊赤山地下壕跡を实地見学。連合艦隊司令部のあった日吉の地下壕との交信の遺り取りも想像しながら当時の地下壕での軍人たちの苦勞多々の現場を参加者思い思いに偲ぶことが出来た。

夜は、館山の老舗割烹「波奈館山総本店」にて懇親会を実施。千葉通信三田会のほか安房三田会(吉田会長)が特別に合流参加して下さった。



懇親会は18時から、千葉通信三田会出口副会長の司会のもと、塾歌を全員マスクで黙歌斉唱。当会吉浜会長の謝意の挨拶から始まり、ご来賓の栗

生・大下様、地元安房三田会の吉田会長がご挨拶。千葉渡邊会長が歓迎のご挨拶のあと乾杯!美味しい地元海鮮料理を堪能。宴たけなわの頃参加者全員(30名)が席順にそれぞれ話題豊富な自己紹介。栗生様と地元忍足様が若き血を指揮。エールを交換。当会竹原副会長がお礼の締めめの挨拶。有意義な楽しい親睦交流を図ることが出来た。翌12日(日)は、JR館山駅から電車にて浜金谷駅まで移動。鋸山ロープウェイにより山頂到着。山頂駅広場で360度の大パノラマの眺望を愉しんだあと、巨大な磨崖仏の百尺観音まで見学を実施。ランチは東京湾フェリー浜金谷ターミナルにて再度テーブル毎に懇親会。久里浜港行きフェリーに乗り込み帰路も愉しんだ。



祝賀会は浅岡副会長の司会が始まりました。塾歌斉唱はCDの音楽を聴きながら心の中で歌いました。最初に岩田会長が挨拶をし、会食へと移りました。

その後、新型コロナウイルス感染症の状況に留意しながら役員を中心に議論して、10月1日(土)の祝賀会開催を決めました。今年度の活動内容をスライドショーとし、会食時に上映しました。

愛知通信三田会 創立30周年記念祝賀会

愛知通信三田会 名誉会長 伏屋重晴

愛知通信三田会は2022年10月1日(土)、名古屋市のアイリス愛知で創立30周年記念祝賀会を開催しました。

本来は2020年5月に名古屋市内での全国通信三田会春期幹事会後に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で残念ながら幹事会は中止となり、記念祝賀会も開催出来ませんでした。しかしそ

祝賀会は浅岡副会長の司会が始まりました。塾歌斉唱はCDの音楽を聴きながら心の中で歌いました。最初に岩田会長が挨拶をし、会食へと移りました。

活動内容は総会・新塾員歓迎会・周年行事・東海地区合同通信三田会等にジャンルごとに分類されており、合計約40枚の写真が正面スクリーンに次々と映し出されました。各行事の開催回数・年月等が明記されており参加者は自分が写っている写真を見て、懐かしく感じたことと思います。

会食後来賓挨拶として全国通信三田会の山岡会長の祝辞を岩田会長が代読し、続いて来賓の岐阜三田クラブの丹羽会長から祝辞を頂きました。再生愛知通信三田会は1991年1月に設立され、現在の岩田会長は5代目です。歓談では歴代の会長のうち出席の3名(伏屋・井中・岩田)がそれぞれの思い出を話されました。その後2021年及び2022年卒業の新塾員3名の挨拶、出席

慶友三田会 会長 野村政直 (2003経)

まだコロナ禍でも今年の関西合同三田会は宝塚慶應倶楽部により11月5日に開催されました。慶友三田会からも正会員、賛助会員、ご支援くださった全国通信三田会員合わせて合計30名程の参加がありました。また、塾生の団体である大阪慶友会からも多数の参加を頂き、2550席数の内、身の丈は協力する事が出来ました。高知や大分や岡山や神奈川など遠くからご参加頂いた仲間の方々には厚く感謝申し上げます。

塚歌劇場を塾関係者で貸し切って観劇し、最後に「若き血」を大劇場で合唱しようと言うものでした。2200名を超える塾関係者で宝塚歌劇場を貸切った観劇は、宝塚でも初めての企画でした。



これに先立つ関西合同三田会では伊藤公平塾長にも宝塚ホテルにお越し頂き、3年ぶりの開催のご祝辞とご講演を頂き、菅沼連合三田会長の挨拶も頂戴しました。

「蒼穹の昴」は浅田次郎氏のベストセラーで、清朝末期の紫禁城に登用された科挙試験トップ合格の梁文秀とその義兄弟の李春雲を中心とした大出世物語です。文秀は親の期待外の次男坊でしたが、難関試験を全体1番で合格し清王朝に仕えます。李春雲は去勢して宦官となり、西太后の一番の寵児となります。清朝末

期は明治維新を終えた日本とも関りが深く伊藤博文も登場しました。久々の観劇でしたが、以前より照明や音響が素晴らしく、一種の夢の世界的な「蒼穹の昴」小説のエッセンスを雪組の熱演で堪能し、大満足する事が出来ました。通い慣れた宝塚ファンの塾員でも「今日の彩風さんの声は素晴らしかった!」とか、「男役がイケメンでかっこ良かったね!」とかの感想が漏れ聞こえました。コロナへの配慮から最後の「若き血」はメロデーだけを流して、マスク下で全員黙唱でしたが、慶應の繋がりを大いに実感出来ました。

茨城通信三田会 全早慶野球戦茨城大会 観戦記 (2022.11.27)

茨城通信三田会 丸尾勝彦 (2013経)

去る11月27日(日)澄み渡る青空の下、早慶戦120周年を記念して、茨城県ひたちなか市で現役学生と同校卒業生の混成チームによる全早慶野球戦が開催された。

茨城県は学生野球に所縁のある地で、早稲田の初代監督を務め野球界の発展に尽力した「学生野球の父」と呼ばれる飛田穂洲(旧制水戸中、現 水戸一高)や名将の石井藤吉郎(水戸商)、大洋ホエールズに入団活躍しロッテの監督となった江尻亮(日立一高)、慶應で活躍後に阪神タイガースの監督を務めた安藤統男(土浦一高)など多くの野球人を輩出している。

水戸一高のキャンパスには飛田穂洲の「二球入魂」の碑があり、今般の試合に先立って、早稲田のみならず、慶應サイドでもその碑を敬拝したとのことであった。試合前日には水戸駅南口ペDESTリアンデッキで両校応援団の応援合戦があり、両校OBに交じって、行き交う人達も足を止め大勢の人が物珍しそうに見入っていた。その後、前夜祭と称してホテルに監督・選手を招き、両校に支援金を贈呈し、互いの塾歌・校歌を歌いながら三田会・稲門会のOB有志との交流を図った。

三田会と稲門会がこのように一つの会場に集まるのは茨城では初めてのことで、会場には茨城県の政財界の重鎮が多数集まり、登壇したOB代表や監督の相互に牽制球など投げ合うユーモア溢れる話で会場は大いに盛り上がった。

会場内でも神宮球場のスタンドでしか眺め見られなかった慶應の堀井監督と直に面談し、先日の神宮で観戦した早慶戦の激闘の話などができたこと、そしてまた早稲田の小宮山監督のロッテ時代の監督で私の高校の先輩にあたる江尻亮さんともいろいろとお話しできたことはスポーツ好きの私には何とも言えない大きな感慨を覚えた次第であった。

今年の六大学野球は春期が慶應の2連勝、秋期は慶應が優勝に王手をかけて臨んだ早慶戦で2連敗、そのため今シーズン2勝2敗の戦績の決着を茨城の地でつけると両軍意気込んでの熱戦を展開した。



わが町紹介

千葉県柏市



千葉県通信三田会 細田 理聡 (2012法)



柏まつりのねぶた

私は慶應通信を卒業して10年になりましたが、卒業してよかったです。...

塾との繋がりをもち続けています。私のわが町紹介は、千葉県柏市です。...

柏市の名を全国に知らしめたのは、何といてもサッカーリーグの「柏レイソル」(優勝3回)です。...

そして昨年発足したラグビーLEAGUE ON2に所属するPFCグリーンロケッツ東京葛のホームグラウンドは、柏の葉総合競技場です。...

上述のようなプロレベルの話ばかりではありません。柏市には老舗のスイミングクラブもあり...

会長紹介

追悼



群馬通信三田会 矢島聖剛会長

矢島会長は、平成十一年法学部卒業と同時に群馬通信三田会に入会し、持ち前の誠実なお人柄を十分に発揮し、精力的に活動されました。...

◆ ◆ ◆

全国の塾員の皆様、こんにちは。群馬通信三田会の矢島聖剛と申します。...

まとめてみたいと思っていました。スクーリングで授業が終わると、大学の図書館と旧図書館に行き、資料を見つけてまとめる作業をしていました。...

話されました。これも卒業論の作成に役立ちました。群馬通信三田会の近況活動? 令和元年に群馬通信三田会では、「創立五〇周年記念行事」を行いました。...

◆ ◆ ◆

矢島聖剛会長におかれましては令和四年十月十一日(火)ご逝去されました。...

星野寿美 記(群馬通信三田会副会長)

卒業25年同窓会 「1997年三田会(138期)卒業25年記念事業大同窓会の名簿委員を経験して」

1997年3月の卒業式で、25年後の卒業式に招待塾員として出席することを心に決めていた。...

この影響をうけ、私は「1997年三田会卒業25年記念事業大同窓会の名簿委員」に自薦した。...



1997年三田会 卒業25周年記念事業 大同窓会

オータニ「鶴の間」で総勢350人が大同窓会に集まった。記念撮影機(大日本印刷株)提供DNP sharing box)は、25年の時の経過や学部等の隔たりを消去してくれる「人間交際」には有効なツールとして活躍していた。...

白旗 中さん ねんりんピック 書の部 最優秀賞受賞!



全国・秋田通信三田会会員の白旗中さん95才が「ねんりんピック2020」(厚生労働省主催・スポーツ庁共催)美術展「書の部」にて、与謝野晶子の歌「ころふと...」を出品なさり、栄えある最優秀賞を受賞しました。...

前号の訂正とお詫び

【全国通信三田会報】第115号 3面「会長紹介」下段左から7行目 誤: 会長も足掛け20年 => 正: 会長も足掛け10年。 8面「ご寄付いただき有難うございました」左側上から5人目 誤: 白幡 中 様(秋田県) => 正: 白旗 中 様(秋田県)。 訂正しお詫び申し上げます。